

広報

# みふね

PUBLIC RELATIONS MIFUNE TOWN

2012

3

No.532

毎月1回15日発行



## 天草路から次の夢へと加速

陸上を始めてわずか2年で、上益城郡のタスキを背負い、天草路を駆け抜けた御船中2年の高田凛太郎選手（高木）。県内最高峰の大舞台で、物おじしない攻めの走りは、次なる夢へと加速する。（14次に関連記事）

Proud!  
東日本大震災の復興を支援しよう  
Japan

Special Interview



## 交流が人を救い、救われる—

東日本大震災復興構想会議議長や防衛大学校長を務め、阪神・淡路大震災を経験した五百旗頭真さん。TKU報道フォーラムのために来熊した五百旗頭さんに災害において重要なことは何なのかを聞きました。

**阪** 神・淡路大震災の時、私は兵庫県西宮市の自宅にいました。直下型地震のすさまじい揺れに生きた心地がしませんでした。室内を家具が飛び交うのを感じました。でも、家族全員が無事だと確認できたときは、心からホッとしました。

停電で辺りは真っ暗でした。人は、情報の暗闇の中では、あらゆる妄想をしてしまっています。「これほど揺れるのであれば、日本が沈没してしまっただけじゃないか」とさえ思いました。その後、トランジスタラジオで淡路島が震源で

## いおきべ まこと 五百旗頭 真さん

●Profile  
昭和18年兵庫県西宮市生まれ。京都大学法学部卒、同大学大学院修了。神戸大学大学院教授、日本政治学会理事長などを歴任。吉田茂賞、吉野作造賞など受賞多数。現在、防衛省防衛大学校長、東日本大震災復興構想会議議長を務める。68歳

も「あそこには誰かいたはず」と助け合えるのです。こうした「共助」を進めるためには、日頃からのコミュニケーションが大切なのです。年に1回でも祭りやスポーツ大会などで交わりのある地域になることが、とても大切だと思えます。人を助けるためには、自分の安全を確保することが大切です。自らが災害に対する強さを持つば、人を助けることができるのです。

**日** 本は地震の多い国です。早急に東北を完全に復興させて、次の災害に備えなければなりません。東日本大震災を忘れず、この悲惨をみしめつつ、必ず来るであろう次の大災害への減災に努めることです。

熊本県は、九州の中央に位置し、自衛隊など防衛拠点が集中しています。熊本県が自らの安全性を高めながら助ける能力を持つことが、日本全体にとっても大変重要なことだと思います。県民の皆さんも地域のつながりを大事にしなご減災・防災の心を大切にしてほしいと思います。

あることを知りました。災害時に情報を得ることは、安心感を得ることです。情報のありがたみを改めて認識しましたね。

**地** 域コミュニティで支え合うことも、防災ではとても大事なことです。阪神・淡路大震災の時、救出された人が多い地域には「祭り」がありました。祭りには、住民同士が交流し、お互いに協力し合おうという雰囲気生まれる効果があります。そんな交流のある地域では、誰かが、がれきに埋もれたとして

が発生した場合には、まず自分の命は自分で守ることが大切なの分かります。

**奇跡から学ぶ自助と共助**

津波による釜石市の小中学校が管理する生徒の犠牲者はゼロでした。それは「釜石の奇跡」としてメディアなどで報じられました。しかし、子どもたちは教えられた通りに行動しただけです。彼らに根付いていた自分の命は自分で守る「自助」と地域の人たち同士で守り合う「共助」の精神。「釜石の奇跡」は、奇跡ではなく、当然の結果だったのかもしれない。

あなたを守るのは、あなた自身。そして、大切な人を守るためには、お互いに助け合うことが重要です。

「自助」と「共助」を知ることが、防災の意識を高めることにつながるのです。

**熊** 本県内の広報担当者が一緒に制作した防災特集。地震や風水害などの自然災害は、私たちに突然襲いかかります。家族や恋人、友人を守るために大切なことは「自助」と「共助」でした。二つの言葉は、まず自分が生き延びることと日頃から地域のつながりを大事にすることの大切さを教えてくれました。愛する人を守るために、二つの言葉を忘れないでください—。

梅雨前線豪雨 (平成19年7月)



梅雨前線による豪雨で河川が氾濫した豪雨災害。美里町では道路寸断、土砂崩れで集落が孤立した。

県南集中豪雨 (平成15年7月)



九州の広範囲を襲った集中豪雨。水俣市では大規模な土石流が民家を直撃。19人が犠牲になった。

台風18号災害 (平成11年9月)



県内全土が大きな被害を受けた台風災害。宇城市（旧不知火町）では、高潮で12人が犠牲になった。

白川大水害 (昭和28年6月)



県北中部を中心に発生した集中豪雨。死者・行方不明者は500人超、家屋全壊は1,000戸を超えた大水害。

幾度となく自然の猛威にさらされてきた熊本。過去にどのような災害が発生しているのでしょうか。熊本を襲った災害を年表で振り返ります。

熊本県  
災害年表



# 愛する人を守る 二つの言葉



熊本縣市町村広報担当者による合同防災特集

## 多くの命を救った奇跡

災害が起きたとき、あなたを助けてくれるのは誰だと思えますか。自衛隊や警察、消防署の人だと思いませんか。東日本大震災の死者・行方不明者は、合わせて約2万人を数えました。そのような大災害の中、多くの子どもが命が助かった地域があります。それは岩手県釜石市。同市は津波による被害を受ける可能性が高いため、防災教育を徹底してきた地域です。その教育を受けた子どもたちは、避難に関して十分な知識を持ち、訓練を積み、助け合う精神を育んでいました。地震が発生すると、釜石市の中学生たちは、津波が発生することを想定し、自分の身を自分で守りながら、小学生と保育園児を連れて避難しました。このことから、大きな災害

平成23年3月11日に発生した東日本大震災は、私たちの想像をはるかに超えた被害をもたらしました。約180万人が暮らす熊本県でも、災害が発生しないという保証はどこにもありません。自分や大切な人の命を守るため、今一度、防災について考えてみましょう。

# 未来へのルール

少子高齢化や地方分権が進む現代社会で、時代の代名詞となった言葉「まちづくり」――。明治時代から続いた国の中央集権から、地方が自立した地域社会への転換期が求められています。今号では、「まちづくりのルール」として注目されている「自治基本条例」の制定を目指す町の取り組みをお伝えします。

## 発展する町と人口減少

御船町は昭和30年に、1町5村が合併して誕生しました。発足当時の人口は、2万3011人で、御船川沿いを中心に公共施設や商工業施設が整備され、豊かな自然を生かした農業で発展を遂げました。

交通網では、昭和51年に九州縦貫自動車道御船インターチェンジが設置。県内を東西南北に結ぶ国道の整備が進んだことで、生活圏の利便性は格段に向上しました。

現在、九州中央自動車道延岡線道の工事も進み、山間地域の活性化が期待されています。こうした状況から見ると、暮らしに快適なまちづくりが着々と行われてきました。

しかし一方で町の人口は、合併をピークに年々減少しています（右下グラフ参照）。国勢調査によると、平成22年の人口は1万7888人。合併から57年間で約5千人が減り、これからも人口は減少すると予測されます。その背景には、少子高齢化が影響していると考えられます。

自ら責任をもち、特性を生かした地域間競争の時代が始まったことを意味します。これは全国約1700の市町村すべてが同じ条件なのです。これまでは、公共施設、道路や公園の整備などを中心に、目に見えたまちづくりが進められてきました。これからは、地域の活動や人材、文化と伝統を磨いて、目に見えない個性を生かしたまちづくりが求められています。

### まちのルールと主役

近年、まちづくりのルールとして、注目されているのが「自治基本条例」です。この条例は、まちづくりの基本的な考え方と姿勢、住民、議会、行政の役割を明らかにするためのルールと呼ばれています。全国で約230の市町村が、県内では3市町がルールをつくっています。

その背景には、多様化する住民ニーズと地域課題があるからと考えられます。地域課題は、行政と議会だけで解決することはできません。なぜなら、地域のことをよく知る住民が自ら考えて、行動することが有効な方法だといえる

## これまでは中央集権



## 人口の推移



(参考資料/国勢調査)

## 地方分権で地域間競争へ

少ない生産人口で社会を支える少子高齢化は、労働力の低下、医療費や介護費の増加などで、国の財政運営を圧迫していきました。そこで国は平成12年から地方分権改革を進め、国と地方自治体の関係を「対等」にして、国の権限や財源を地方自治体へと移しました。

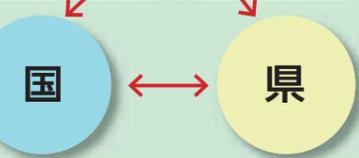
つまり、明治時代から続いた国の中央集権が、地域主権へと大きく転換期を迎えたのです。地方自治体にとっては、

からです。

今まで以上に、まちづくりの主役を住民に、行政や議会と一緒に、行動を起こすことが大切です。「自らのまちは自らでつくる」という意識と、「住民自治のまちづくり」の視点が欠かせません。

町は平成23年7月に、町職員で構成する「御船町みんなで作る町の基本条例制定準備委員会」（委員長・山本孝二町長）を立ち上げました。まちづくりのルールとなる「御船町の憲法」をつくる検討を始めたのです。

これからの地方分権時代を切り開くために、誰もが住みよいまちづくりの仕組みづくりを目指すために――。



## これからは地域主権



北海道ニセコ町  
片山 健也 町長

●Profile  
かたやま・けんや  
元ニセコ町役場職員。平成21年、ニセコ町長に就任。同町は全国初の自治基本条例を制定。住民自治の先進地として知られている。58歳

# 住民に隠しごとしない町へ

地方自治法には、「自治体は、最小の経費で最大の効果をあげなくてはならない」と書いてあります。

自治体は、住民の暮らしの安全、安心して暮らせる社会をどうつくるのが最大の責務です。最大の幸福を目指して、政策を打ち、最も効率的でお金がかからず、町民の税金を最小化することが役割といえます。

役所は町民の税を預かって、公共課題を解決することが使命です。保有情報は、公共課題を解決するために、住民が活用しやすいように、行政情報は保存し、管理している情報なのです。その主権者は、住民となります。

役場の持っている情報をどう住民と共有するかをやってきました。徹底した情報共有です。役所の中の隠しごとは一切ない町をつくらうと。情報を対等にすることをやりたいと思ってきました。

国と地方自治体、都道府県と市町村も全く対等な関係です。法律の解釈は、自治解釈権があるというくらい。それをどう解釈するかは、私たちの判断です。町の意味決定、住民への説明責任には、やっぱり条例があるということで、約3年にわたって、百十数回の会議を重ねて、「ニセコ町づくり基本条例」を作りました。基本条例は、町がどういう意思決定をしていくのか、町の財政はどうか、参加や検証をする仕組みとして、条例として残しておく必要があると思っています。

御船町の予算説明書を見ました。これは将来の財政民主主義です。本当の財政の状況って、住民の皆さんに事細かに知らされてきませんでした。

ニセコ町は一昨年、予算を各課が要求するヒアリングを全部公開しています。そうすることで、財政の流れが住民にも見えてくるわけです。



コーディネーター  
神吉 信之 代表



自治体の憲法づくりを目指す御船町。シンポジウムで明かされた「自治基本条例」が必要とされる理由と、これからの歩むべき方向を考えます。

# 憲法制定へ 本格始動

自治体の憲法と言われる「自治基本条例」の制定を目指したシンポジウムが2月26日、カルチャーセンターで開催されました。

シンポジウムでは、早稲田大学大学院・北川正恭教授の講演、全国で最初に自治基本条例を制定した北海道ニセコ町・片山健也町長の事例発表、住民代表などが参加してのパネルディスカッション（意見討論）が行われました。

北川教授の講演では、地方分権時代を明治維新に例えて、町民がまちづくりに参画するために自治基本条例の制定が必要と強調。「地域主権は、御船で自分たちにあるものを探して、磨き抜いて、生きていくということ」と訴えました。

片山町長は、「情報共有と自治体改革」をテーマにした

事例発表で、職員の意識改革や住民との情報共有がまちづくりの基本になると提言。「自治体職員の政治的な任用は町民一人一人、住民に対する説明責任が求められる」と説明しました。

パネルディスカッションでは、「御船町が自立していくために、町の姿とみんなの役割」と題して、町民、議会、行政の代表などが意見を交わしました。

住民代表の田中恵三さん（木倉）は、木倉地区の公民館活動に触れ、地域の連携と組織づくりが大切と話した一方で、地域の若いリーダー育成や行政からの情報発信が十分と課題を上げました。

高橋恵子さん（滝川）は、御船町の自然や人などの地域

## 町民向けの勉強会を開催



町では、自治基本条例「御船町みんなでつくる町の基本条例」の策定に向けた町民の勉強会を開きます。

- ▼期日  
1回目 4月19日(日)  
2回目 4月26日(日)  
3回目 5月10日(日)
- ▼時間  
19時30分～21時
- ▼場所  
カルチャーセンター2階大会議室

▼内容  
勉強会の内容は3回とも異なりますが、現時点での詳細は調整中です。詳しい内容は3月下旬に回覧文書でお知らせします。

▼対象者  
御船町に住所のある人

▼問い合わせ  
役場総務課秘書係  
☎282-1392

資源を引用して、地域は宝の山でつなげていくことが必要と力説。しかし、自主防災組織の設置、要援護者の支援体制を指摘しました。

岩田重成議長は、議会基本条例を軸とした通年議会、町民と意見交換する議会報告会や、あおぞら会議などの取り組みを報告。山本孝二町長は、まちづくりの目標設定や仕組み、現状分析、フェイスブックを活用した情報発信を発表しました。

町は今後、自治基本条例制定に向けた勉強会の開催、町民で組織する「策定委員会」を設置して、御船町のルールを考えていく方針です。

そして、平成25年4月の「自治基本条例」スタートに向けて進んでいきます。



行政代表 山本 孝二 町長  
議会代表 岩田 重成 議長  
住民代表 高橋 恵子 さん  
住民代表 田中 恵三 さん

とです。役場の働き方を、基本的に町民と理解を得ながら、考え直そうという時代が地方分権です。

予算配分業や許認可発行所から、町民が元気になる町を、町民が自由に活動できて、子どもたちが活発になってくる町をみんなでつくるという時代です。町全体の役割は、役場だけではなく、議会、町民の三者が一体となっていかなければいけません。その一番の元を決めるものが自治基本条例になります。

自治基本条例ができると、町長、議会、町民の合意で、まちづくりにも慎重な作業がいきます。自分たちの創意工夫で、町をつかっていく一番の元が自治基本条例をつくるということ。集権から分権になり、中央依存から創意工夫の地域自立にするためにも。「おらが町はおいらがつくるんだ」ということです。

## 中央依存から地域の自立へ



早稲田大学大学院  
北川 正恭 教授

●Profile  
きたがわ・まさやす  
三重県議会議員、衆議院議員、三重県知事などを歴任。現在、早稲田大学大学院教授、新しい日本をつくる国民会議代表を務める。67歳

今までは、国道決起大会や陳情で国の省庁に行かされて、道を造る、そんなことが長の仕事でした。だけど、そういう時代はもう終わりました。

一回ゼロに戻って、町をつかっていかないと、御船町はもちません。九州や全国もそうです。もう一回作り直すために、町長、町民、議会、役場の考えを変えなければいけません。その基本的なことを考えようというのが町の憲法「自治基本条例」です。

御船町をどうするのかを、これからは町民や議会にも参画してもらわなければいけません。自立して、自分たちの町の憲法作って、こんな町を何十年もかかって作り上げていこうよということです。

条例を作るためには、町長だけが勝手に決めるということではダメ。この町を将来どうする、子どもや孫の代はどうするかを、町民にも決めてもらうというこ

# 御船のまちづくりは町民参加型

建設課都市計画係 282-11312

町は、国からの交付金を活用した「御船地区都市再生整備計画事業」を進めています。この事業は、シンボルロード線の沿道に交流や観光の拠点を整備して、新たなまちづくりを展開するものです。主に▼ふれあい広場▼新恐竜博物館▼子育てふれあい館▼観光交流センター▼街なかギャラリー▼町道改良―を、平成26年度までに順次整備する計画です。

各事業でのサポートとして、町民への情報発信や意見を聞く取り組みで「まちづくり活動推進事業」を活用しています。これは、町民の協力や参加、施設整備後の利用促進を図るための支援です。

具体的には①まちづくり住民説明会②ふれあい広場のワークショップ③広報紙での情報発信④パンフレット作成⑤都市再生整備計画事業実務者会議⑥視察団体の受け入れ―などを行い、町民と町が協力しながら各事業を進めています。

この取り組みで▽ふれあい広場の維持管理や活用方法を町民主体で議論▽新恐竜博物館の集客を活用した町全体の活性化策の提案▽役場内部の事業推進体制の構築―などの効果が上がっています。さらなる工夫と、町民の声や視点を生かして、各事業の検討を図っていきます。

今後は、本計画の目標である「御船町の新たな顔となる『人集い夢かなう文化交流空間』の形成」に向けて、各事業を進めていきます。事業効果を最大限に引き出すために、集客向上へのPR、施設完成後のオープンイベント支援、地域活動の人材発掘と育成、自治会や各団体の組織強化支援など、町民がまちづくりに参加しやすい支援を継続的に図っていきます。

## INTERVIEW



山本 孝二 町長

こぎやんしたか御船町  
共に創るまちづくりへ

町は、平成4年にまちづくりの基礎となる「都市計画区域」を設定してから約20年が経過しました。

シンボルロード線や国道443号と445号の道路網整備も関係者の協力で順調に進み、あらためてお礼を申し上げます。しかし、利便性が向上する一方で、通過型都市への心配もありました。そこで、平成22年から「都市再生整備計画書」を基に、これまでに紹介した各事業を行っています。目標を掲げ、指標を数値化して、達成を目指すまちづくりです。

この取り組みは、「人と人のつながり」から共に創る「共創」を基本理念として実践しているマニフェスト型行政運営そのものです。

町の未来を創っていくためには、町民、行政、議会の三者が共に協力や連携することが必要です。明日の御船町をみんなで創り上げましょう。



### ●都市再生整備計画事業

地域の歴史、文化、自然環境などの特性を生かして、地域主導の個性あふれるまちづくりを支援する国からの交付金事業。地域の創意工夫で、限らないオーダーメイド型のまちづくりが可能となる。町は平成21年度に本計画を作成した。



## 都市再生整備計画事業メニュー

<p>①</p> <p><b>ふれあい広場</b></p> <p>整備完了 平成25年度 整備内容 広場整備1.4㍍ 担当窓口 建設課</p>	<p>②</p> <p><b>街なかギャラリー</b></p> <p>整備完了 平成24年度 整備内容 ギャラリー整備 担当窓口 経済振興課</p>	<p>③</p> <p><b>ポケットパーク、モニュメント</b></p> <p>整備完了 平成25年度 整備内容 ミニ公園整備、碑や像設置 担当窓口 建設課</p>
<p>④</p> <p><b>新恐竜博物館</b></p> <p>整備完了 平成25年度 整備内容 恐竜博物館新館整備 担当窓口 社会教育課</p>	<p>⑤</p> <p><b>観光交流センター</b></p> <p>整備完了 平成25年度 整備内容 旧御船幼稚園の改装増築 担当窓口 社会教育課</p>	<p>⑥</p> <p><b>子育てふれあい館</b></p> <p>整備完了 平成25年度 整備内容 旧御船幼稚園舎の改装 担当窓口 福祉課</p>
<p>⑦</p> <p><b>迎町高校線改良</b></p> <p>整備完了 平成23年度 整備内容 歩道設置、橋りょう幅拡 担当窓口 建設課</p>	<p>⑧</p> <p><b>城山小学校線改良</b></p> <p>整備完了 平成23年度 整備内容 カラー舗装の路面表示 担当窓口 建設課</p>	<p>⑨</p> <p><b>辺田見役場線改良</b></p> <p>整備完了 平成24～25年度 整備内容 水路改修、護岸設置など 担当窓口 建設課</p>

## これまでの取り組み (平成19～23年度)



### ▼まちづくり住民説明会

平成19年度から5回開催しています。都市再生整備計画事業の内容、進め方、進め方、施設の活用方法を説明して、町民と意見交換を行っています。



### ▼ふれあい広場のワークショップ

平成22～23年度にかけて6回開催しています。広場のレイアウト、維持管理や利活用を意見交換。町民からの意見を集約して検討を行っています。



### ▼広報紙での情報発信

広報みふね平成23年6月号から、都市再生整備計画事業を連載で紹介しました。各事業の内容、期待される効果、町民の声などをお知らせしています。

## これから取り組み (平成24～25年度)



恐竜の郷 御船町  
恐竜の郷にあやかり、町のマスコットキャラクターに定着している「フネッピー」

▼フネッピーのキャラクターグッズ化  
熊本の人気キャラクター「くまモン」を追い風に、御船町の「フネッピー」のグッズや着ぐるみを製作予定です。イベントや行事で、町のPRに役立ちます。

### ▼アドバイス支援

各施設の集客アップや地域コミュニティの活性化など、まちのにぎわい再生に向けたアイデアを実現するために、アドバイス支援をします。

### ▼オープニングイベントの支援

平成25年度までに、ふれあい広場、新恐竜博物館、観光交流センターなどの施設が完成します。そのオープニングイベントの開催を支援します。

# 農業

## 「青年就農給付金」「農地集積協力金」の新制度 農地問題解消に向けた支援

問 町地域農業再生協会(経済振興課内) ☎282-11607

国では、農業での新規就農者や農地の問題解決に向けて、「青年就農給付金」と「農地集積協力金」の新制度をスタートします。

この制度は、地域ごとに「人・農地プラン」を作成することで問題点を整理して、地域担い手の育成や農地の集積、農業を始めたい若い就農者の支援を目的としたものです。

「青年就農給付金」と「農地集積協力金」の内容は、次のとおりです。

### 青年就農給付金

新規就農者に、農業を始めてから経営が安定するまで、年間150万円を最長5年間で給付します。

▼対象者 ①原則45歳未満の人②独立や自営での就農③就農5年後に農業で生計が成り立つ実現可能な計画であること④町が作成をする「人・農地プラン」への位置づけがあること⑤生活保護など生活費を支給する国のほかの事業と重なって受給していないこと

### 農地集積協力金

農業経営を転換する人、所有農地を担い手に集める農地集積に協力する人に、協力金を交付します。ただし、農業者戸別所得補償制度の前年度加入実績があるか、その年度に加入する必要があります。

▼対象者 地域の中心となる経営体への農地集積に協力する農地所有者で、次のすべてに当てはまる人

①米、麦や大豆など国の戦略作物の土地利用型農業から経営転換する農業者②リタイアする農業者③農地の相続人

※遊休農地の保有者は経営転換協力金の対象外

### 要件

【対象者】農地利用集積円滑化団体(上益城農業協同組合)または農地保有合理化法人にすべての自作地を、貸し付け先の相手に指定しない白紙委任する人

【人・農地プランの作成単位集積】白紙委任の対象となった農地すべてに関して、地域の中心となる経営体に農地集積を行うことに、集積で地域の中心となる経営体を含めた合意がされている人

### 交付単価(戸別)

▽0・5 鈔以下 ≦30万円  
▽0・5 鈔超2 鈔以下 ≦50万円  
▽2 鈔以上 ≦70万円

▼注意 交付金を受けるには、このほかにも要件が必要です。詳しい内容は、電話でお尋ねください。

## 選挙 地域農業の代表を決めます

問 町選挙管理委員会(総務課内) ☎282-1111

3年に一度の任期満了に伴う町農業委員会(宮本力会長)の委員一般選挙が次のとおり執行されます。

▼告示日 4月10日(四)  
▼投票日 4月15日(日) 7時~17時  
▼委員定数 13人

▼立候補の届出 立候補に必要な書類は、選挙管理委員会に用意してあります。立候補を希望する人は取りにお越しくください。

▼立候補の受付日時・場所 4月10日(四) 8時30分~17時 役場2階総務課総務係

# 相談

## 消費生活相談窓口をご利用ください 4月から郡内4町で広域相談

問 総務課地域・防災係 ☎282-1111

近年、増加傾向にある消費者トラブルの解消を目的に、消費生活相談窓口を役場2階地域・防災係に開設しています。消費生活相談は、町と県消費生活センターが協力して、事業者と消費者との間に生じた苦情を処理するための専門窓口です。

平成22年度に県消費生活センターに寄せられた相談件数は、約7200件を数えます。その内、御船町では111件の相談を受け付けています。相談が多いものは、▽健康食品や布団の販売▽多重債務▽教育費▽住宅ローンなどのトラブルです。問題が長期化すると、精神的な病気、家庭崩壊、犯罪、自殺につながるケースもあります。

こうした社会問題に対応するため町では、上益城郡4町(御船、嘉島、甲佐、山都)で、消費生活相談業務の協定を3月下旬に締結予定です。協定を結んで、消費生活への強化を広域的に図っていきます。また、消費者行政相談員が問題解決のお手伝いをします。

上益城郡4町では4月から、毎週相談窓口を設けて、消費者の悩みや苦情の早期解決を全面支援します。

▼対象者 上益城郡4町内に在住、在勤や在学する人

### 相談内容

商品の購入やサービス利用で生じた▽販売方法▽契約内容▽品質トラブルなどの悩みや苦情

### 相談日・場所

▽毎週火曜 御船町役場 ☎282-1111  
▽毎週水曜 嘉島町役場 ☎237-1111  
▽毎週木曜 甲佐町老人いこいの家 ☎234-1192  
▽毎週金曜 矢部保健福祉センター「千寿苑」

☎0967-73-1700

### 相談時間

9時~16時  
(12時~13時を除く)

▼必要なもの 契約書類やチラシなどの資料

# 国保

## 国保加入者一人一人に保険証を交付 カード型保険証を一斉郵送

問 町民保険課保険係 ☎282-1113

国民健康保険の加入者へ、一人一枚ずつの「カード型保険証」を郵送しました。保険証は、▽一般被保険者用(緑色)▽退職被保険者用(水色)の2種類です。3月中旬ごろに郵便書留で配達されます。

4月1日からは、新しい保険証を持って、医療機関へ受診してください。現在お持ちの保険証は、3月31日で有効期限がすぎます。4月1日過ぎましたら、各自で厳重に処分してください。

国民健康保険税を納めていない人には、保険証を送っていません。保

険証を持たずに医療機関へ受診した場合には、10割全額自己負担となります。保険証が必要な人は、保険税を役場1階会計課や金融機関の窓口で納められた後に、保険証の発行となりますので、保険係窓口まで受け取りにお越しくください。

ただし、保険税が納められていない世帯であっても、高校生以下には、6カ月間有効の短期保険証を交付します。短期保険証を受けとるためには、世帯主や国保税を納めている人の納税相談が必要となりますので、保険係窓口までお越しくください。

## 高額外来診療費が一定額に

4月1日から、医療機関で高額な外来診療を受けた場合、窓口での支払いが一定額にとどめられます。

これまでは、入院時の高額療養費のみが対象でしたが、外来診療も同じ取り扱いとなります。病院、保険薬局、指定訪問看護事業者などの医療機関に受診した際に、窓口で限度額適用認定証を提示することで適用されます。

この適用を受けるためには、限度額適用認定証の交付手続きが必要となります。対象者は、70歳未満と70歳以上の非課税世帯の人です。事前に役場1階保険係窓口で、限度額適用認定証の交付手続きをお願いします。詳しい内容は、直接お電話でお尋ねください。

## 進路選択が近づく君たちへ 先輩が語る未来への必勝策

御船中で先輩の話を聞く会

御船中学校（加藤敬之校長、473人）で2月16日、同校卒業生が母校を訪問して、進路選択や高校受験への心構えを講演しました。先輩7人が2年生151人へ向けたメッセージをお伝えします。



1 母校を訪れて後輩たちの前で講演した卒業生7人 2 先輩たちの話を真剣な眼差しで耳を傾ける生徒 3 講演の内容をメモに書き留めてこれからの受験に備えていた



開新高校2年  
溜淵 哲平さん（滝川）

### 言葉使い礼儀しつかり

自分は高校に、体育奨学生で入りました。部活動で頑張ると、高校への推薦があります。高校で大変なことは専門教科が入ってくることです。部活動の上下関係は厳しくなり、今のうちに言葉使いや礼儀をしつかりとやって過ごしてください。

進路選択をするとき、自分が将来、何をしたいのかを考えて、それに向けた高校や、高校からの進路を考えた方がいいと思います。そうすれば高校を卒業した後も、すぐに目標が見つかると思います。高校に入るためには、今の時期から勉強をしつかりしなくてはなりません。高校に入ってからでも、すぐにテストがあります。高校に入るまで勉強をするのではなく、高校に入ってからでも、勉強を継続することが大事です。頑張ってください。



九州学院高校1年  
丹生 佳那さん（木倉）

### 自覚をもち勉強の習慣

今、中学2年生だから、受験とか、どこの高校に行きたいとか、全然自覚がないと思います。3年生になったら、その瞬間がいきなりきます。私が中学3年生のとき、行きたい高校は言えるんですけど、「どうして行きたいの」と聞かれたときに、答えられませんでした。自分でも分かりませんでした。だから、自分に合った高校に行くことが一番だと思います。

中学校と違うことは、赤点や追試があることです。中学校はテストで0点でも次の学年に行けますが、高校では上げられません。退学や留年になったりします。習うことは、どこの高校も一緒です。高校受験やテストの順位を目標とせずに、勉強の習慣が今ついていない人は、3年生からでもいいから少しずつつけてください。



尚綱高校2年  
牧野 由衣さん（豊秋）

### 机に向かう習慣をつける

私は中学生の頃、勉強をする習慣がありませんでした。家に帰って、テレビやゲーム、勉強は時々する感じでした。高校に入ったら、そんなことは通用しません。今の内に、30分でも机に向かう習慣をつけた方がいいと思います。

中学生時代に一番失敗したことは、高校を知らなかったことです。体験入学も1校だけ、パンフレットもほとんど見ませんでした。皆さんは今の内に高校のことを調べてい方がいと思います。見つかるはずですよ。自分の行きたい高校が。将来の夢がある人はなおさらです。中学生だけが受験生ではなく、高校生にも受験生が、大學生にも就職活動している人がいます。私も高校3年生を迎えます。皆さんが受験で頑張っていることを想像しながら、私も勉強を頑張ります。



鎮西高校2年  
何川 祐樹さん（御船）

### もっと授業を大切に

自分もみんなと同じくらいるときは、どこの高校に行きたいとか全然分からなくて、決まっています。先輩が鎮西高校を出て、消防士になりました。その頃、自分も消防士いなくなって思っていました。だから鎮西高校に行つて頑張れば、消防士になれるかなって。あと、高校で野球も続けたいと思って、受験しました。

みんなに頑張ってもらいたい。みんなの頃の自分に言うなら、もっと授業を大切にしておけばよかったと思います。授業さえしつかり集中して聞いておけば、絶対に分かると思うし、先生は絶対に教えてくれるから。自分は、鎮西高校に行ったことを後悔していません。高校に入ってからがスタートだと思つて、頑張ればいと思います。



国府高校2年  
手嶋 啓稀さん（滝尾）

### 懸命に自分と向き合う

自分は、中学校でサッカーをしていました。高校でもサッカーをした、うまくやりたいと思つて、高校を選びました。

進路は、自分でやりたいと思うことを決め、やりたいことのある高校を選ぶことです。決まっていらない人は、これから興味や何がしたいかを決めればいと思います。目標が決まると、今の学力でいいか、足りないものが分かってくる。その目標に向かって、頑張ってください。やりたいことがなかなか見つからない人もいます。だからといって何もしないのではなく、自分に与えられたことを、目の前のことを一杯頑張ってください。一生懸命にやることで、自分と向き合うことができ、いろいろな発見ができると思います。



中央高校3年  
川崎 輝世さん（木倉）

### 目標を決めて興味探る

中学3年生の3学期、周りには進路に向かって勉強を頑張っていました。私は、「授業を受けて何の意味があるの」「高校はどこかいける」といった感じでした。勉強を何のためにするのか分からず、分からないことも先生のせいにしていました。本当は、自分が悪かったのに、人のせいにしていました。

何人か進路が決まっておらず、先生には迷惑をかけました。それでも先生は、一人一人の進路を一生懸命に個人面談してくださいました。とても感謝しています。分かったことは、目標をまず決めることです。私は、看護師を目指そうと決めました。皆さんは、高校のこと知らないし、選ぶ基準も分からないと思います。何か一つ目標を決めて、自分が一番興味のあることを探すといと思います。



学園大学付属高校3年  
林田 宝子さん（木倉）

### 努力は絶対に裏切らない

私が中学2年生の頃は、将来の夢はありませんでした。大学にいけない、安定した職に就ければいいと思つていました。進路選択は、周りの大人や兄弟に聞いたりすることが一番いいと思います。

私は、生徒会活動が盛んで、自分たちで何かできる高校に行こうと思つて、受験しました。だから、やりたいことを探してください。高校入試には、中学3年生の内容だけがでるわけはありません。だから、今から勉強を始めても全然遅くありません。今から頑張ればいんです。絶対にみんなは、やればできると思います。自分がやってきたことは絶対に裏切らないと思います。だから、今からコツコツ、勉強を頑張つてくれたら、受験するときの自分の自信になると思います。



御船中2年  
池上 大樹さん（高木）

### いろいろな科やコースがあることを知って、自分の選択肢が広がりました。

夢に進んで行く気持ちが高くなりました。今の内に、授業態度や服装など、将来大事なことに取り組んでいきたいです。家や学校での勉強時間を増やして、勉強は継続すること、習慣をつけることが大事だと思いました。



御船中2年  
坂本 奈緒さん（木倉・左）  
北岡 莉央さん（辺田見・右）

### 将来

自分が、なりたい目標に向かってどう進めばいいのか参考になりました。進みたい進路のために、今から本気で勉強したいと思つていました。自分の目標について、いろいろ調べて、勉強を進めていきます。今まで習ったことや分からないことを復習して、受験に臨みたいと思つています。

御船中学校では毎月15日に「学校へ行こうデー」を開催しています。

生徒の授業風景を一般公開中です。 園御船中学校 ☎282-0002

## 橋の名前は私たちの字です

### 七滝中央小児童が橋名板を設置

九州横断自動車道延岡線工事で上野地区の町道津ヶ峰八勢線に架設が進められている津ヶ峰大橋(長さ76.1m、幅5m)で2月22日、七滝中央小学校(村上孝利校長、72人)の児童が書いた文字の橋名板が設置されました。橋名板は、国土交通省九州整備局が同校に文字のデザインを提案したもので、縦15cm、横30cmのブロンズ製。書体は毛筆で、橋の名前をひらがなや漢字、竣工年月を書いた3枚です。式では、文字を書いた園田莉央さん(水越)、永野綾香さん(上野)、丸山美穂さん(同)に感謝状が贈呈され、参加した地域住民と一緒に橋名板の完成を祝いました。式の後、欄干に橋名板を取り付けた3人は、「字をきれいに書くよう心がけた。6年生最後の記念になった」と喜んでいました。



津ヶ峰大橋の橋名板を書いた児童3人

### 日本一のロボットに興味深く見学する園児



## みふねのロボットだいすき

### 滝尾幼が御船高でロボット体験

滝尾幼稚園(古閑美千子園長、76人)の年長児が2月27日、御船高校を訪れて、ロボット操作の実演や体験を行いました。これは、町が進める学園都市構想の一環で、交流やものづくりへの関心を目的とした取り組みです。7度の日本一に輝いたロボット班と、全国大会3位の実績を持つマイコンカー班の生徒が、実際にロボット操作を実演した後、園児たちもシャトルロボットやライトレーサーを体験しました。園児の本田響涼くん(辺田見)は、「ロボットだいすき。またあそびにきたいな」と楽しそうでした。

## 心も詰め込んだ長生き弁当

### 高齢者宅に手作り弁当配達

町民生委員・児童委員協議会(片岡浩喜会長)は2月9日、町内の高齢者宅に手作りの弁当を届けました。これは、75歳以上の一人暮らしを対象にした友愛訪問で、20年以上続く取り組みです。材料費は、町社会福祉協議会(本山浩二会長)からの補助金を活用。山菜おこわ弁当を約430個作って、配達しました。できたての弁当を受けとった本村節子さん(滝川)は、「今日は病院に行かなくて良かったです。弁当は味もよくて、心を込めて作ってあるからおいしい。半分ずつに分けて、明日まで食べたい」と笑顔を弾ませていました。



民生児童委員の宮崎信輔さんから弁当を受けとる本村さん

## 期待の新星が天草路を力走

### 郡市対抗熊日駅伝で上益城郡3位

第38回郡市対抗熊日駅伝大会は2月12日、天草市役所前をスタート・熊本市のびぶれす熊日会館前をゴールとした14区間105.3kmに19郡市が出場して、上益城郡は3位の好成績を収めました。本町からは、御船中2年の高田凛太郎選手(高木)が初出場。5区・熊日松島販売店前～2号橋公園前の3.7kmを区間7位で力走しました。「順位を落とさずにつなぐ気持ちで走った。アップダウンの激しいコースで、橋付近は風で前に進みづらく苦労した。だけど、沿道からの声援でモチベーションが上がった」と天草路でのレースを振り返ります。高田選手が陸上を始めたのは中学校に入ってからで、小学校時代はとびぬけて足が速かったわけではないそうです。「体力をつけようと思って、陸上を始めた。走ることは好きだったから」と原点を打ち明けます。所属する陸上部での専門は長距離。限られた部活時間と、休日はロードワーク10kmの走り込みで力をつけ、頭角を現してきました。「御船中陸上部は、いいメンバーが揃っている。郡陸上大会や駅伝大会でいい成績を残して、県でも通用するような選手になりたい」と先を見据えます。わずか2年で県最高峰の駅伝大会を経験した期待の新星は、持ち前の努力で輝きを増しながら走り続けます。また、2月26日に益城町で開催された駅伝大会で、御船中が中学の部で優勝。高田選手は、大会最優秀選手に選ばれています。郡市対抗熊日駅伝の結果は次のとおりです。

#### ▼総合成績

- ①天草市 5時間27分34秒
- ②球磨郡 5時間29分59秒



上天草市3号橋の上りを軽快にとぼす高田選手

- ③上益城郡 5時間30分14秒
- ④熊本市 5時間31分03秒
- ⑤八代市 5時間32分12秒
- ⑥阿蘇郡市 5時間33分27秒

#### ▼個人(区間・氏名・区間タイム順位・総合順位)

- 5区・高田凛太郎選手 11分59秒⑦⑩

## 新鮮でうまい地元産の野菜

### 滝尾小で給食交流会

滝尾小学校(清村勢津子校長、106人)で2月9日、野菜の生産者や集荷業者などを招いて、4年生13人と交流給食会が開かれました。これは、農業や地産地消への意識を高めることを目的に行われました。献立には、米田真伍さん(田代)が収穫したダイコンを使ったサラダ、米村義邦さん(同)が生産したシイタケを使ったクリームスパゲティーなどのメニューを児童と生産者は会話を弾ませながら食べていました。4年生の作田菜々海さんは、「野菜がおいしかった。地元野菜を給食でもっと多く食べたい」と話していました。



生産者や集荷業者と楽しく給食を食べる児童

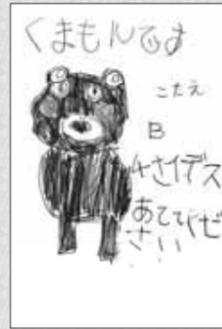


イラストは  
たてに描いてね

このコーナーでは、皆さんからのお便りをお待ちしています。  
どんなことでもかまいません。どしどしお送りください。広報クイズの答えもお忘れなく。  
《あて先》〒861-3296 御船町役場「おたより」係 ※住所を書かなくても届きます。  
《Eメールアドレス》 [kanri@town.mifune.lg.jp](mailto:kanri@town.mifune.lg.jp)  
※匿名希望の場合は、氏名の横にその旨を明記してください。ペンネームでもかまいません。



P.N. ナイトさん



松本 悠里さん



田端 真也さん



9歳のときに家の庭で撮った一枚。写真を撮られるのが苦手だったため、残っている大切な宝物です。

まちへのラブレター

皆さんからのお便りをご紹介します。

**県** 外から御船町へ引越してきて、この2月で丸2年になります。この2年の間に長男が生まれ、今月長女も生まれ、2人家族から4人家族へ。御船町は子どもさんの印象があり、きつと子育てしやすい環境なんではないかな。私も地域の皆さまに助けられながら2人の子どもの育見にがんばりたいと思います。  
(辺田見・Mさん)

Mさん、長女さんの誕生おめでとうございませう。家族が増えて、毎日がにぎやかでしようね。子育てしやすいと声をよく耳にするようになりなりました。地域で子育てをする環境は昔に比べたら薄れてきていますが、きつと周りには子育てのお手伝いをしてくれる人がいるはずですよ。子育てに関してのお問い合わせは役場福祉課児童福祉係まで気軽に尋ねてください。  
(広報担当)

**い** つも最初から最後までじっくり読んでいます。同じ町内に住む実家の父もみふね広報紙のファンで熱心に読んでいます。両親との会話も、この共通の話題のおかげで話がはずみます。編集スタッフの皆さまの努力に感謝します。  
(匿名希望さん)

広報を通して、親子の会話を楽しんでいただけているようで、編集スタッフとしてはとてもうれしいお便りでした。広報みふねをきっかけに一人でも多くの人が笑顔になっていただけると、私たちスタッフの願いでもあります。いつも皆さんのお便りに元気づけられています。  
(広報担当)



先生の青春昔話

町内に勤務する先生に、子どもの頃の思い出を話してもらうコーナーです。

心と体の健康づくり



小坂小学校 末武けい子養護教諭  
(熊本市出身・60歳)

私は、熊本市立田山ふもとで育ちました。夕暮れまで木登りをしたり、れんげ畑で遊んでいました。庭には父手作りの水道管の鉄棒があり、腕力だけは男子より優れていました。算数でつまずき自信を失いかけていた6年生のとき、担任の先生が放課後、手作りのプリントで指導してください、分かるようになりました。得意の体育の授業では模範演技をしたことがきっかけで、教師になりたいと思うようになりました。中学時代から看護師を目指し、正看を取得後、養護教諭の道に進みました。子どもたちと接するなかで学び、特に小坂小の子どもたちから元気ももらいました。今年度、小坂小は県健康教育研究推進校の指定を受け、来年度は発表です。いよいよ、教職員最後の年となり、「心と体の健康」を伝える機会となり本望です。生きる力を私たち大人が示したいと思います。

文芸

ひとひねり  
短歌

春寒の夜の幻聴異国に置き去りにせし雛の声か

金森 英子

えぐられて姿変りし日本地図竜ひつきぎてたらあがりけり

北村ヤヨイ

赤き蝶飛び交うごとし楓葉はしきり散るなり風吹く午後を

西梅 孝子

新屋で初春祝いうから等と屠蘇くみ交わす八十路の至福

平野 文子

悄々と除夜の鐘鳴る又ひとつ吾生く路の駅を過ぎゆく

藤本 京子

永らえて我は今年年女同級生らよ如何にみまきむ

正宗タツ子

群れ鳥の朱実ついで姿なくいずこの空に餌求むるや

山本志満子

俳句

御船春菊句会 大坪路子選

目の合うて仁王のいかく冴返る

常石 和子

春を待つ心に川のきらめけり

渡辺ケイ子

野を踏めばほのと土の香春隣

守田 律子

仁王像遠巻きに舞ふ春の雪

丹生 則子

ものの芽のほぐれる風の汀かな

黒田 順子

涅槃像拜みわが身を振り返る

さとうともこ

冬の夜深深月は高くあり

渡辺 澄江

肥後狂句

天狗会

太り過ぎ 軽量級じゃ闘えん

増永 笑和

採めばかり 世界不況に負けんごつ

平野 千鶴

命がけ 雪のアルプス踏破する

鳥井 蘭

あっぱれなり 貧乏神も追い出した

江藤 お竜

命がけ あの世迄酒持つて行く

吉田 楽園

時代が違ふ まな板なんか要らっさん

河地 ゆき

命がけ 釣れた魚も暴れよる

鈴木 千春

一般投稿

お雛さま あなたの着物は母手縫い

内村 孝子

紅白の庭の茶山花咲き乱れ花好きたりし七夫浮かび来る

松岡 文江

六里木をめざして歩く眼がね橋昔をしのぶ日向街道

川部 寅男

おじやめ縫うひと針ごとこに想い出す母の着ていしかすりの柄を

其川喜代子

どんど焼き餅の重さに竹折れて笑いの声で餅はこけてる

黒田 昭二

上の畑のたちわけ今年は良く実り来年もまた楽しみに待つ

染田 武茂



おがたひろき  
**緒方拓生くん**  
(3歳)

豊秋(平成21年3月13日)

おたんじょうびおめでとう。  
元気にすくすく育てね。

(拓志お父さん 裕紀子お母さん)



なかむらえいと  
**中村瑛斗くん**  
(3歳)

小坂(平成21年3月30日)

3歳のお誕生日おめでとう  
♥ブロック作るの大好き瑛斗！弟の陽太と仲良くネ。

(耕平お父さん 明日香お母さん)



さとうあゆむ  
**佐藤歩夢くん**  
(2歳)

滝尾(平成22年3月13日)

いつも元気なあゆくん。  
お兄ちゃんと仲良く元気

に大きくなってね。  
(純一お父さん 裕美子お母さん)



つやまみおり  
**津山美央里ちゃん**  
(2歳)

滝川(平成22年3月22日)

お誕生日おめでとう！歌や  
ダンスが大好きなみいちゃん。

これからも元気で！  
(裕史お父さん 美紀お母さん)



くしやまれお  
**申山怜音くん**  
(1歳)

高木(平成23年3月3日)

お誕生日おめでとう♡やん  
ちゃで甘えん坊だけどそんな

怜音君が大好きだよ！  
(正範お父さん 梨絵お母さん)



なかむらようた  
**中村陽太くん**  
(1歳)

小坂(平成23年3月10日)

1歳のお誕生日おめでとう  
♥ブロック壊すの大好き

陽太！瑛斗兄とも仲良くネ。  
(耕平お父さん 明日香お母さん)



みやべあらた  
**宮部新大くん**  
(1歳)

木倉(平成23年3月13日)

1歳おめでとう♡一人で立て  
るようになったね！歩けるよう

になったらお散歩行こうね♪  
(陽介お父さん 久美お母さん)



かきもとみずき  
**柿本瑞希ちゃん**  
(1歳)

高木(平成23年3月16日)

瑞希お誕生日おめでとう♡  
たくさん食べて遊んで、元

気いっぱい育ててね♡  
(晋宏お父さん 由梨お母さん)



かわべゆうづる  
**河部悠紘くん**  
(1歳)

上野(平成23年3月24日)

元気いっぱいにお兄ちゃんと  
暴れています。

これからもいっぱい遊んでね。  
(尚穂お父さん 純子お母さん)



おがたたくる  
**緒方武琉くん**  
(1歳)

陣(平成23年3月29日)

とっても活発でヤンチャ  
な男の子☆

車と風船が大好きです♪  
(和浩お父さん 和美お母さん)

来月号は、4月にお誕生日を迎える満1歳から満3歳までの“みふねのアイドル”を先着10人で募集します。  
掲載希望の人は、3月30日迄までに役場2階総務課広報窓口で直接お申し込みください(電話予約は不可)。

## 広報クイズ

図書カード  
が当たる!

問題をよく読んで、3つの答えの中から正しいものを選び、ハガキに書いて送ってください。全問正解者の中から抽選で10人に図書カードをプレゼントします。

### 問題

問① 防災教育を徹底してきたことで3.11東日本大震災の被害から小中学生の犠牲者を出さなかった地域はどこでしょう?

- A-宮城県石巻市
- B-兵庫県西宮市
- C-岩手県釜石市

(ヒント・2~3ページ)

### 応募方法

ハガキに答え(例、①-A)とあなたの住所、氏名、年齢を書いて、〒861-3296御船町役場「広報クイズ」係まで郵送してください。コメントやイラストもお待ちしています。

### 締め切り

平成24年3月31日(当日消印有効)

### 2月号の正解

①-B

### 2月号の当選者

応募総数37通で全問正解者は37通でした。抽選の結果、次の10人に図書カードをお送りします。(敬称略)

- 古田 隆介(御船) / 松本 悠里(滝川)
- 古閑智和子(水越) / 田上 佳奈(滝尾)
- 村田とく美(木倉) / 渡辺 順子(御船)
- 井手上拓海(陣) / 梶原ケイコ(田代)
- 宮本 悦子(滝尾) / 田端 真也(辺田見)



仲間と集まって話すことが何よりも楽しいと語る梶本さん

## わたしにとっての日本一

連載  
47



かじもと たまこ  
**梶本 玉子さん**  
(豊秋・70歳)

## 出会いから広がる人と人の輪

「人が好き。みんなと話したり、笑ったりすることが」と笑顔で話す、梶本玉子さん。NPO法人ふるさと共有の代表を務めます。ふるさと共有は昨年12月、人との出会い、町やふるさととのつながりをテーマに発足しました。会員は、同じ思いを持つ仲間10人。活動は①ふるさと学び②ふるさと広報③イベント企画・運営の3つの柱。会員は趣味や特技を生かして、昔遊び、いなか体験、史跡探訪などで交流を図り、若い世代に知恵や経験を伝えようと、今は活動計画を温めています。「人って、出会いだと思えば返しています。関わりを持つことで、心や思いのふるさとが芽生えます。その思いを人につなげて残していけたら、幸せかなって」と思いを打ち明けます。人が好き、地域が好き、ふるさとが大好きな梶本さん。その思いは人と人を結びつなげて、大きな輪となって、町中に広がっていきそう予感です。



## ムゾラシカ



※「ムゾラシカ」は御船弁で「かわいらしい」の意味です。

### 笑顔いっぱい仲良し家族

8人家族の藤岡家、家族で囲む食卓は毎日とてにぎやかです。3人の孫たちは学校や保育園での出来事をそれぞれに話してくれます。長女・真理と二女・真実、長男・弘真は仲良しきょうだい。活発で外遊びが大好きな3人の遊び場は自然いっぱいのお寺の庭先です。住職のおじいちゃんは数年前に病気を患い、入院生活を送っていましたが、現在は家族との時間をゆっくりと過ごしています。天気の良い日は散歩しながら、学校から帰ってくる長女を迎えるのがおじいちゃんの役目。孫たちとの遊び、と、学習、を担当するのは教員経験のあるおばあちゃん。「勉強も楽しみながらでさるところが良いですね、任せてます」と話すのはお母さんの雅子さん。孫たちとの生活の中で自然と張り合いが出て元気でいられるんですね。元気をもらっているんですよ。これからの成長が楽しみです。(話) 榮子おばあちゃん

かわいらしい孫と一緒に暮らすおじいちゃん・おばあちゃんに孫の話をもらうコーナーです。

- 藤岡 孝道さん(辺田見・79歳) 榮子さん(74歳)
- 真理ちゃん(7歳) 真実ちゃん(5歳)
- 弘真くん(2歳)



## English-Japanese

エリック先生の英会話 VOL.19

### Cooking

I have loved to cook since I was a child. My father taught me how to make delicious food. Sometimes, I miss cooking with my father. In America, I used a BBQ grill. I love meat. American steaks are the most delicious in the world. I also like making soups and pasta. I often make spicy Mexican food. Have you ever eaten Mexican food? Tacos, burritos, and refried beans are famous Mexican foods. Cooking in Japan is difficult for me because it is hard to find American ingredients. So I want to learn how to cook Japanese food!

### 料理

(和訳例)

私は子どものときから、料理をすることが大好きです。私のお父さんは私に美味しい料理の作り方を教えてくれました。お父さんと料理していたことを時々懐かしく思います。アメリカではバーベキューをしました。私は肉が大好きです。アメリカのステーキは世界で一番美味しいです。スープやパスタを作ることも好きです。私はメキシコ料理をよく作ります。メキシコ料理を食べたことがありますか? タコスやプリート、リフライド・ビーンズは有名なメキシコの食べ物です。日本ではアメリカの材料は見つけにくいので料理することは難しいです。だから私は日本料理の作り方を学びたいです。



- 生活便利帳
- ▶ 役場(時間外・休日の直通) ☎282-1111
  - ▶ 教育委員会(カルチャーセンター) ☎282-0888
  - ▶ スポーツセンター ☎282-4111
  - ▶ 恐竜博物館 ☎282-4051
  - ▶ 天君ダム ☎284-2057
  - ▶ 御船町甲佐町衛生施設組合(ゴミ焼却場) ☎282-0688
  - ▶ 吉無田高原「緑の村」 ☎285-2210
  - ▶ 養護老人ホーム「オアシス」 ☎282-0459
  - ▶ 浄水センター ☎282-7066
  - ▶ 御船地区衛生施設組合(し尿処理場) ☎282-2970
  - ▶ 社会福祉協議会 ☎282-0785
  - ▶ 上益城消防署 ☎282-1955
  - ▶ 御船警察署 ☎282-1110
  - ▶ 上益城地域振興局 ☎282-2111
  - ▶ 御船保健所 ☎282-0016
  - ▶ 御船町地域包括支援センター ☎282-2911
  - ▶ 眺世庵 ☎282-0806

**お知らせ**

**森林の所有者届出制度が開始**

森林法の改正で、4月から新しく森林の土地所有者になった人は市町村への届出が必要になります。

- ▼届出対象者 売買や相続などで森林の土地を新たに取得した個人や法人
- ▼届出期間 土地の所有者となった日から90日以内に、取得した土地のある市町村長へ届出をしてください

**問い合わせ**

役場経済振興課農林企画係  
☎282-11607

**計量器の定期検査を実施します**

取引や証明に使用する計量器は、2年に1回の定期検査が義務付けられています。次の日程で検査が実施されますので、該当する計量器を持っている人は受検してください。

**日時・場所**

4月16日(日)

▽10時～12時：JA旧上野事業所  
▽13時30分～15時：旧水越小学校  
4月17日(月)

▽9時30分～15時：町保健センター  
計量器、手数料(1台あたり500円～2200円)

**検査対象の計量器**

▽商店での商品の売買取引▽病院、薬局での調剤用▽学校、病院、保育園での体重測定用▽農協や漁協など流通物資の集荷出荷用▽宅配、運送業者の貨物運賃算出用▽農業、漁業生産者の生産物売買取引

**問い合わせ**

役場経済振興課商工観光係  
☎282-11607

**「なごみ紀行」がリニューアル**

県と県観光連盟でつくる熊本県総合観光案内サイト「なごみ紀行」がリニューアルしました。県内のおすすめ

**鯉のぼりは安全な場所に設置を**

今年も、鯉のぼりが空を泳ぐ季節が近づいています。しかし、鯉のぼりが電線に引っかかると感電の危険性があります。鯉のぼりは、電線のない安全な場所を選びましょう。釣りをする場合も同じように注意してください。万が一、鯉のぼりや釣り糸が電線に引っかかっても、電柱や鉄塔に昇ったり、竿でついたりせずに、九州電力まで連絡してください。

**募集**

**海外ボランティアを募集します**

国際協力機構では、平成24年度の「青年海外協力隊」を募集します。

青年海外協力隊は、開発途上国の人と生活して、自助努力の促進活動を展開する海外ボランティアです。派遣先は、アジア、アフリカ、中南米など約80カ国に及びます。説明会や選考試験がありますので、詳しくは電話でお尋ねください。

- ▼募集分野 ▽農林水産▽加工▽保守操作▽土木建築▽保健衛生▽教育文化▽スポーツ▽計画・行政
- ▼応募期間 4月1日(日)～5月14日(日)
- ▼応募資格 満20歳～満39歳までの日本国籍を持つ人
- ▼派遣期間 ▽1年間～2年間の赴任

**運動**

**スポーツクラブ会員を大募集**

**12種目のスポーツに仲間とチャレンジ**

問 社会教育課社会体育係 ☎282-4111

平成24年度フネッピーすこやかスポーツクラブ(竹内昭副会長)の会員を募集します。クラブには、12種目のスポーツがあります。

入会した人は、好きな種目を自由に選んで、年齢、趣味や体力に応じて活動ができます。初心者、体力をつけたい人、健康が気になる人を大歓迎します。

**▼入会手続き**

印かんを持って、フネッピーすこやかスポーツクラブ事務局(スポーツセンター内)で申込手続きをしてください。平成23年度会員も更新手続きが必要となります。

▼会員期間 平成24年4月1日～平成25年3月31日

**●スポーツクラブ教室**

<p><b>ストレッチ</b></p> <p>開催 毎週日曜 時間 10時～12時 場所 カルチャーセンター 対象 子ども～大人</p>	<p><b>バドミントン</b></p> <p>開催 毎週木曜 時間 19時30分～21時30分 場所 スポーツセンター 対象 小学校高学年以上</p>	<p><b>ミニバスケットボール</b></p> <p>開催 毎週土曜 時間 14時～16時 場所 御船小体育館 対象 小学生以下</p>
<p><b>バスケットボール</b></p> <p>開催 毎週日曜 時間 19時～21時 場所 御船中体育館 対象 中学生以上</p>	<p><b>ショートテニス</b></p> <p>開催 毎週木曜 時間 19時30分～21時30分 場所 スポーツセンター 対象 小学校高学年以上</p>	<p><b>陸上(ジョギング、ウォーキング)</b></p> <p>開催 毎週土曜 時間 18時～20時 場所 スポーツセンター 対象 子ども～大人</p>
<p><b>水泳</b></p> <p>開催 毎週日曜 時間 19時～21時 場所 スポーツセンター 対象 小学生～大人</p>	<p><b>ソフトテニス</b></p> <p>開催 毎週金曜 時間 18時～20時 場所 スポーツセンター 対象 子ども～大人</p>	<p><b>弓道</b></p> <p>開催 毎週土曜 時間 18時～20時 場所 沖田弓道場 対象 中学生以上</p>
<p><b>ストレッチ</b></p> <p>開催 毎週木曜 時間 10時～12時 場所 スポーツセンター 対象 小学校高学年以上</p>	<p><b>太極拳</b></p> <p>開催 第1～3土曜 時間 10時～11時30分 場所 カルチャーセンター 対象 大人</p>	<p><b>卓球</b></p> <p>開催 毎週土曜(月3回以上) 時間 19時～22時 場所 沖田弓道場 対象 中学生以上</p>

**●年会費**

個人
大人(高校生以上) 6,000円 子ども(中学生以下) 5,000円
ファミリー
3人まで 10,000円 4人目からは1人 3,000円

**技術幹部などの自衛官を募集**

- ①種目 技術海曹、技術空曹免許の部
- ▼対象者 20歳以上の人で国家資格取得者など
- ▼受付期間 4月27日(金)～5月18日(金)
- ▼試験日 6月29日(金)
- ▼種目 技術海上、航空幹部
- ▼対象者 大卒で38歳未満の人
- ▼受付期間 4月27日(金)～5月18日(金)
- ▼試験日 7月2日(日)
- ▼申し込み・問い合わせ 自衛隊熊本地方協力本部  
☎0964-2312047

**訂正とお詫び**

2月号の掲載に誤りがありました。訂正してお詫びします。  
▼23頁「グラウンドゴルフ」の氏名(誤)堀内親則  
(正)堀川親則

Topics



伝承遊びで地域とつながって

高木保育園(小田芳子園長、69人)で2月24日、園児と町竹振興会(野口一敏代表)が竹馬作りで交流しました。伝統文化や昔遊びを伝えることを目的に取り組まれたものです。同会員の佐方泉さん(高木)ほか2人が竹馬作りを実演。竹馬が出来上がるようすを真剣に見入る園児たち。出来上がった竹馬に実際に乗ってみるが思うように乗れず悪戦苦闘。年長児の上田拓弥くん(高木)は「むずかしかったけど、練習して乗れるようになりたい」と話していました。

ゲートボール大会

その他

- ▼養護老人ホームへ  
キッチンふじ 様(滝川)  
とらや 福寿亭 様(滝川)
- ▼一般寄付  
山川 長行 様(滝川)  
山崎 護 様(木倉)  
前田 敏雄 様(木倉)  
溜瀧 義樹 様(七滝)  
西山 明男 様(上野)  
松本千恵子 様(高木)  
増岡 壽則 様(高木)
- ユキエ 様  
セイ子 様  
美枝子 様  
キクエ 様  
モモエ 様  
マツエ 様  
セツ子 様

グラウンドゴルフ大会

▼第7回町グラウンドゴルフ協会兼高松杯大会

- ▼町ゲートボール大会  
(2月18日/町ゲートボール場)  
①木倉 ②古閑原 ③田代西部
- ▽高松杯  
①中面洋子  
②宮部隆佐 ③本田 誠  
【赤コート】①宮部隆佐 ②大分福一  
③村井 誠 ④中内信義 ⑤西村孝光  
【青コート】①本田 誠 ②木野隆介  
③宮部禮子 ④田代美恵子 ⑤内田友義  
【黄コート】①中面洋子 ②中面 勲  
③阪本ミズエ ④村木恒雄 ⑤江原武人

平成24年度国家公務員採用試験

試験

職種	試験内容	受付期間	一次試験
▽総合職	院卒者 大卒程度	4月2日(日)～3日(月)	4月29日(日)
▽皇宮護衛官	大卒程度	4月2日(日)～3日(月)	6月10日(日)
▽法務省専門職員(人間科学)▽財務専門官 ▽国税専門官▽食品衛生監視員▽労働基準監督官▽航空管制官	大卒程度	4月2日(日)～3日(月)	6月10日(日)
▽一般職	大卒程度	4月10日(日)～11日(月)	6月17日(日)

受験資格は試験ごとに異なります。受付期間は、郵送や持参での日程です。インターネットでの受付期間は異なります。詳しい内容は、インターネット確認や人事院九州事務局までお尋ねください。ホームページは「国家公務員試験採用情報ナビ」

▼資料請求・問い合わせ  
人事院九州事務局第二課試験係  
☎092143117733

大切に使用させていただきます

▼菜の花部会様(増田英宏部会長)  
3月1日、町内の小中学校7校の学

善意の輪



菜の花を山本孝二町長に代表で贈呈する 田上良子さん(左)

校給食に役立てようと、菜の花27kgが寄贈されました。今回で3回目。同部会は、平成21年に設立されて、部会員14人で構成されています。昨年は、菜の花の生産は畑2畝に作付けして、出荷量は約3トに上っています。今回、寄贈された菜の花は3月2日、菜の花和えに調理して学校給食で提供されています。

▼社会福祉協議会へ

- 【香典返し】  
(一)芳名 (住所) (故人)  
山下 敬二 様(辺田見) 一 雄 様  
本田 幸一 様(上野) 弘 子 様  
佐野 誠志 様(高木) 登代美 様  
三浦 千春 様(木倉) 宗 春 様  
永田アツ子 様(高木) 伊津確 様  
河内ソヨ子 様(高木) 清 様

安心安全の窓



問い合わせ  
御船警察署交通課  
☎282-1110  
役場総務課地域・防災係  
☎282-1111

見通しの良い道路も油断大敵

平成23年中に県下で発生した人身事故は911件(死者11人、負傷者1141人)と昨年より増加しています。今年は見通しの良い直線道路での「追突事故」「出合

い頭での事故」が上位を占めています。今回は、見通しのよい直線道路での事故防止を考えます。見通しのよい直線道路でも、さまざまな原因が考えられます。例えば▼風景、脇見、考え事、漫然運転での前方不注意▼注視を怠った動静不注意▼ブレーキの踏みが弱い、踏み遅れの操作不適などが挙げられます。そこで直線道路での事故を防ぐための方法として①しっかりと前を見て運転する②車間距離を十分に取る③運転に集中するなどを十分に心掛けましょう。4月は新入学の時期、黄色いランドセルは新1年生の目印です。十分に注意して運転しましょう。

▶犯罪発生状況

犯罪区分	2月中	累計
自販機ねらい	0件	0件
車上ねらい	1件	1件
自転車盗難	1件	3件
オートバイ盗難	0件	1件
詐欺	0件	0件
空き巣	0件	0件

▶交通事故発生状況

交通事故	2月中	累計
人身事故	4件	7件
物損事故	19件	52件

※件数は2月末現在で、累計は1月からの数値です。

約370年の伝統を持つ春の風物詩「種イモ市」が開催されます。主役の種イモは上質で種類も豊富。野菜の苗や草花類も販売されます。

4月15日日には、発動機やハーレーが大集合するイベントを開催して、伝統市を盛り上げます。

- 開催日(全7回) 4月1日(日)、5日(月)、10日(日)、15日(日)、20日(金)、25日(木)、30日(月)
- 時間 8時～15時
- 場所 御船橋下河川敷
- 入場 無料



↑大正から昭和の農業で使われていた発動機をよみがえらせて、運転会も行います。

←轟音を響きわたらせ、ハーレー軍団が一堂に集結して、バイクの展示を行います。

●問い合わせ 町商工会 ☎282-0322



みふねの春を告げる 伝統「種イモ市」開催

「恐竜が子育てをしていた」という証拠が世界で初めて示されたのは、1979年のことです。その論文は学術雑誌「ネイチャー」に掲載されました。第一著者はモンタナ州立大学のジャック・ホーナー博士(写真)。映画ジュラシックパークの主人公のモデルとなった古生物学者です。

ホーナー博士は、モンタナ州のシヨトーという町で、小さい骨と卵の殻の化石が直径2センチのくぼみに集まっていることを発見しました。この化石はマイアサウラという草食恐竜のもので、その中には11体の化石が含まれていることがわかりました。

卵の殻は丸い形で残っていることから、このくぼみは巣とみられ、周囲には同じようなくぼみがいくつも見つかりました。くぼみの中で見つかった恐竜は、太ももの骨の大ききから、全長約45センチと見積もられ、骨の継ぎ目が十分につながっていないことなど、子どもの骨の特徴も認められました。歯を詳しく調べてみると、かなりのすり減っていることもわかりました。

このような証拠をつなぎ合わせると、恐竜の子どもが集団で巣の中にどまっていた、エサを食べていた状況を推理することができます。

(写真／恐竜博物館池上直樹)

## 恐竜時代への旅

第34話

### モンタナの恐竜 ～子育て恐竜マイアサウラ～



**DATA**  
モンタナ州立大学のジャック・ホーナー博士<sup>④</sup>と著者<sup>⑤</sup>  
(平成23年9月、カナダアルバータ州ドラムヘラー)

## 子育て日記



長女・寧々ちゃん(6歳・中)  
長男・大夢くん(3歳・右)  
次女・結愛ちゃん(8カ月・左)

☆感謝☆

長女、寧々が生まれてから、あっという間に6年が経ち…。当時、何もかもが初めてだった子育てが不安で、正直子どもは1人でいいなと思っていました。でも、周囲のおかげで、今では元気いっぱいの子供たちも恵まれました。運動大好きで負けず嫌いな寧々。寝る直前までおしゃべりしている大夢。兄弟ケンカをして、私に叱られる2人を見てニヤッと笑う結愛。それぞれ個性があり面白いです。ケンカはしてもやっぱり仲良し。まだ小さい結愛の面倒を2人で一生懸命に見てくれます。子育てって大変、疲れたなあ～と思うこともありますが、子どもたちがくれる笑顔に夫婦共々、癒されています。そして、いつも私たちを支えてくれる、じいじ、ばあばにも感謝の思いでいっぱいです。寧々、大夢、結愛これからも笑顔いっぱいの仲よし家族でいようね♪

(文・写真／御船・山下幸美お母さん)

## Book 今月の本

### 暗殺者の森

逢坂 剛 著



ヒトラーを暗殺せよ！敗戦直前のドイツでは、ナチス体制崩壊を目指すクーデターが進行。大混乱したベルリンでジャーナリスト尾形正義は首謀者たちの壮絶な最後を目に当たりにする。

### ゆっくり急ぐ

外山滋比古 著



生き方の教え。仕事の心得。ローマ皇帝アウグストゥスの名言“Festina Lente!”(ゆっくり急げ)ていねいにやりなさい。拙速はいけません。矛盾する二つを結びつける知恵とは？ユーモアとアイデアの選りすぐり読本。

### まってるまってる

近藤薫美子 著



「まつ」たのしさ、「まってる」よるこびめぐるきせつのなかでいつでもどこでもなにかがどこかでまってるまってる。なにをまってる。

### 本を無料でプレゼントします

町立図書館の古くなった本を無料で差し上げます。小説、教養書、児童書などを中心に約300冊をご用意しています。この機会にぜひお越しください。

▼期間 3月27日(土)～30日(日)  
▼時間 9時30分～17時  
▼場所 カルチャーセンター1階ホワイエ

## 生活習慣チェック

家族みんなで生活習慣病の予防を

### 食事

- 3食とも規則正しく食べている
- 食べ物の好き嫌いはあまりない
- 1日に必要な食べ物の量を概ねとっている
- よく噛んで食べている
- 腹八部を心がけている
- 食材の買い物、料理や手伝いをしている

### 睡眠

- 決まった時間に布団にはいる
- 子どもは9～10時間、大人は6～7時間眠っている
- 寝る直前までテレビをみたりゲームをしたりしていない
- 寝る2時間前に飲んだり食べたりしていない

健康になるための生活習慣は、食べすぎに注意して、体を動かす、よく休養をとることです。ポイントはこのどれか一つだけというのではなく、毎日の生活ですべてをバランスよく続けることが大切なのです。しかし、無理は禁物です。「せよ」と無理することではなく、「健康になる」と考えながら、食事▽運動▽睡眠の3つを意識して心地よい生活を心がけましょう。

### 運動

- 天気のよい日は外で体を動かしている
- エレベーターより階段を使っている
- 近くへの買い物や用事は歩いていく
- 駐車場はなるべく遠いところを使う
- 家の掃除、家事や手伝いをしている

保健センターでは、保健師や栄養士が健康相談を行っています 保健センター ☎282-1602

# 健康へのヒント

## 生活習慣病を予防する3つの約束



お出かけ情報

消防団通常点検

日時 4月1日(日) 9時～15時  
場所 御船中グラウンド  
内容 今年は2年に一度の小型ポンプ操法競技が開催されます。9つの分団を代表する精鋭たちが出場。上益城郡消防大会への出場2枠を目指します。このほかにも、保育園児の幼年消防隊と、消防団員の通常点検も見逃せません。

問い合わせ 役場総務課地域・防災係  
☎282-1111



小型ポンプ操法競技で火点めがけてホースを延長する郷土の守護神

あんしん納税

今年は3年に一度の固定資産税評価替えのため、4月の納税はありません

休日当番医

1日(日)	よしむら内科循環器科医院	☎235-7773
1日(日)	古閑整形外科胃腸科医院	☎284-2010
8日(日)	からしま小児科医院	☎235-6333
15日(日)	山地外科胃腸科医院	☎237-0003
22日(日)	笹原外科胃腸科医院	☎282-0070
29日(日)	のぐち皮膚科	☎237-4112
30日(日)	榊田外科医院	☎282-6363

※変更となる場合がありますので、電話で必ずご確認ください。

保健カレンダー

6日(金)	【三種混合予防接種】 対象者：生後3～90カ月未満／受付：13時～13時45分
10日(火)	【BCG予防接種】 対象者：生後3～6カ月未満／受付：13時～13時45分
11日(水)	【7カ月児健診】 対象者：H23.8月生／受付：9時
11日(水)	【4カ月児健診】 対象者：H23.11～12月生／受付：10時
11日(水)	【3歳児健診】 対象者：H21.1月生／受付：13時
11日(水)	【フッ素塗布】 対象者：1～4歳／受付：14時30分～15時30分
24日(火)	【10カ月児相談】 対象者：H23.6月生／受付：9時30分
24日(火)	【育児相談日】 ※事前に電話予約が必要です。 対象者：妊婦・産婦・乳幼児／受付：13時30分～14時
25日(水)	【3歳児健診】 対象者：H21.2月生／受付：13時
毎週月曜	【母子健康手帳交付】 ※事前に電話予約が必要です。 対象者：妊婦／受付：13時30分～15時30分
常時	【健康相談】 受付：8時30分～17時15分(土・日・祝日は除く) ※会場は、すべて保健センターとなります ☎保健センター ☎282-1602

元気クラブカレンダー

10日(火)	【御船、辺田見、滝川】
24日(火)	場所：御船町憩いの家／時間：10時～12時
17日(火)	【滝尾】
場所：滝尾公民館／時間：10時～12時	
16日(月)	【水越】
場所：水越公民館／時間：10時～12時	
19日(水)	【木倉】
場所：木倉公民館／時間：10時～12時	
9日(月)	【高木】
23日(月)	場所：下高野公民館／時間：10時～12時
20日(金)	【小坂、陣、豊秋】
場所：陣多目的集会所／時間：10時～12時	
12日(水)	【七滝】
26日(水)	場所：七滝公民館／時間：10時～12時
13日(金)	【上野】
27日(金)	場所：上野公民館／時間：10時～12時
18日(水)	【田代東部】
場所：田代東部公民館／時間：10時～12時	
11日(水)	【田代西部】
25日(水)	場所：北田代公民館／時間：13時30分～15時30分

※地域ごとに、開催日などを掲載しています。  
☎町社会福祉協議会 ☎282-0785

×(キリトリ線)

むすばれ

宮崎(坂井)美尚	鶴村(宮本)容子	山下(迫)舞華	渡邊(南條)めぐみ
22	11	22	23
上野	辺田見	辺田見	滝川
多良木町	熊本市	熊本市	滝川

うぶごえ

溜野(笑)結菜	小林(夕)真愛	田中(佳)音	隈部(あ)音	増永(あ)音	大場(二)輝	川端(二)輝	津川(二)輝	山田(二)輝
27	27	27	27	27	27	27	27	27
芳成	順也	貴典	七滝	七滝	七滝	七滝	七滝	七滝
尾	尾	尾	尾	尾	尾	尾	尾	尾

2月1日～2月29日届出分(敬称略)  
町に届出のあった希望者のみを掲載



人のくらし

DATA 恐竜の郷 御船町

東経 130度48分 北緯 32度42分 面積 99.0km<sup>2</sup> 町木 もっこく 町花 ふじ

人口 (平成24年2月末現在) 前月比  
男 8,598人 (-2人) 女 9,476人 (-7人) 計 18,074人 (-9人) 世帯数 6,965世帯 (-3世帯)

高齢化率 27.9%  
\*高齢化率は、65歳以上の人が人口に占める割合です。

おくやみ

吉澤 須藤 長野 梅田 西山 荒木 増岡 川元 前田 溜野 西田 石坂 河内 永田 松崎 浅井 松下 佐野	アヤ子 敦子 ミサ子 モエ子 トヨ子 セツ子 美枝子 キクエ キエ 丸清 綱丸 伊津 津和 逸治 登代美	(84歳) (84歳) (80歳) (68歳) (90歳) (99歳) (76歳) (64歳) (86歳) (98歳) (94歳) (77歳) (88歳) (72歳) (84歳) (69歳) (79歳) (63歳)	27 27 23 22 20 20 17 16 15 14 11 7 6 5 3 2 1 1	野倉 木高 七上 辺田 高田 木七 水豊 高高 木倉 倉野 木	氏名(年齢) 死亡日 住所
---	--	---	--	---------------------------------	---------------

こちら 町長室

町長日誌 みんなでつくる町の基本条例

町の基本条例制定に向けてスタートしました。2月26日に開催したシンポジウムでは、町民の皆さまの参加ありがとうございました。「なぜ、条例をつくる必要があるのか」「どのように作っていくのか」といった疑問、制定する過程での課題など、パネラーの皆さまにより、意見が集約できたと思います。今回は、全国から自治体職員も参加をいただきました。大会終了後には、講師を囲んだ情報交換会を企画して、水前寺菜料理を中心に御船の手料理で舌鼓みを打ちながら、終始笑顔の対話ができました。御船町には多くの財産があります。先輩たちの実績に感謝して、私たちがこれからの御船町の未来を創っていきましょう。



シンポジウム終了後、北川正恭教授を囲んでの情報交換会

2月の主なうごき

1日	九州中央自動車道熊本・宮崎両県合同提言活動(～2日)。町消防団正副団長分団長会議。	15日	益城町および御船町中学校組合議会定例会。介護フォーラム。
3日	万ヶ瀬区総会。	16日	総合計画審議会。「健康いきいき御船町」政策会議。嘱託員会定例会。
5日	上野公民館維持管理の検討会と宮部鼎蔵没150回忌の検討。	17日	御船地区衛生施設組合管理者会議・議会。御船小で学力充実研究推進校研究発表会。マニフェストヒアリング。
7日	上益城消防組合管理者会議・定例議会。大分県九重町議会と鹿児島県南大隅町議会からの視察研修。県企業立地課との協議。	18日	全国薬草シンポジウム2012in玉名。
8日	滝尾小で交流給食会。水の国くまもとシンポジウム「未来へつなぐくまもとの大切な水」。	20日	自治基本条例シンポジウムの打ち合せ会。
9日	町民生委員・児童委員協議会定例会と民生委員委嘱状交付。	21日	廃棄物処理施設視察研修(～22日)。
10日	御船町老人クラブ大会。認定農業者認定証授与。郡市対抗熊日駅伝の郡選手団結団式。	23日	第13回町議会。
11日	マニフェストヒアリング。御船町甲佐町衛生施設組合管理者会議・議会。職員との意見交換会。	24日	上益城広域連合議会。町指定管理者候補者選定委員会。
13日		25日	木倉小PTA歴代会長会。
14日		26日	町自治基本条例シンポジウム・講師との意見交換会。
		27日	モンタナ州立大付属ロッキーマン博物館から化石の標本化作業で来町。
		29日	行政改革本部会議。総合計画審議会。

Special Topics  
2

## 認知症になっても ずっとこのまちで



誰にでも起こり得る病気「認知症」。現在、85歳以上の4人に1人は認知症の症状があるといわれ、町でも認知症の人が増えることが予想されています。今回、認知症フォーラムでの在宅介護、地域や町社協の取り組みにスポットを当て、誰もがいきいきと暮らしていける、支え合うまちづくりを考えます。

**私**の母は92歳、生まれも育ちも木倉です。80歳後半まで、自転車で買い物に行っていました。

体が不自由になったのは、約4年前。庭で尻餅をついたことがきっかけで、だんだん歩けなくなり、杖が必要になり、家事も畑仕事も思うようになり、私たちが夕食の準備をしていました。しかし1年経った頃、認知症のような様子が見えはじめ、私の職場に電話を掛けるようになりました。「もう母の側にいなくてはいけない」と思い、仕事を辞めました。

**近**所の友人に誘われ、デイサービスに行きはじめましたが、1カ月でやめてしまいました。「家におればすることはいっぱいある」と母は言います。母はおせっかいな程に親切な人でしたが、別人のように意地悪な人へ変わっていききました。近所の人からの親切を拒否して、いじわるや皮肉を言ったりするようになりました。一日中続く母の勘違いや妄想。自分の心をコントロールすることはとても

難しく、感情的になったり落ち込んだりしていました。

**感**情的になって母とけんか、妹にSOSを発信します。「お



母を在宅で介護する  
橋本 純子さん (木倉・66歳)

ら、1日1回は顔を見せるようにしてくれています。隣の奥さんはいつも夕方になると、そっとのぞいてくださいます。この存在がどんなに私の肩を軽くしてくれている

### 「母の笑顔と誇りを大切に」

母さんに電話して。声を聞かせてやると。妹の声を聞くことは、今までのことはすっかり忘れて、ご機嫌になります。妹は、「私はリハビリDみたいね」と笑いな

とかわかりません。

**か**かりつけの病院で紹介してもらった精神科の先生は、「認知症の人は忘れたいけれど、忘れられない辛い過

家族

去の出来事が吹き出してきました。認めてほしいというお母さんの気持ちに家族にできることは「感謝」です」と言われました。90年間一人倍働きの80代になっても家事を受け持ち、家族を支えてきた私を認めてという叫びです。

**母**は今年の正月も、車いすで買い物についていきました。お世話になった人へのお歳暮も全部ついて行き、あいさつをしました。外出のときは必ず遠回りをして、自分の畑を見て、昔住んでいた集落の道を通って帰ります。昔住んでいた地域の人たちはいつも快く迎えて、「マサ子おばさん」と母を囲んで昔話に花が咲きます。

これから、地域の暖かいまなざしのなかで一日一日を喜び、安らぎの時間で満たしてあげたいと思います。

**高**木地区下高野は、御船町で一番世帯数が多い地域です。高齢者だけの世帯も多く、毎月72軒の声掛け訪問をしています。最初は地域のことも、地理も、人もわからずなじむまでは大変でした。

「まだ声掛けして心配してもらおうと年取っちゃおらんけん、来んでよかばい」「あたたかも暇な」と言われたりしました。それでもめげずに訪問を続けました。そのうち、「もう帰るとね」「お茶飲んで行って」とか、井戸端会議に入って話をしたりしていました。今では、見守り家庭訪問が楽しくなってきました。お互い笑顔で言葉を交わし合うことが、いつの間にか楽しくなっていたのです。

**活**動の中で体験したものに、二人暮らしだったご夫婦が連れ合いを亡くされたとき、寂しい姿を目の当たりにしました。その数年後、後追いつくように亡くなられ、本当につらいものもありました。

これは昨年、私が経験したことです。身寄りのない一人暮らしの人が救急入院され、

駆けつけると意識もなく体も動かない状態に。「つらい別れなのか」と頭をよぎりました。何度も見舞いに行くうちに、少しずつ回復され、リハビリ病院に転院。車いすです



高木地区下高野民生委員  
木村みち子さん (高木・60歳)

地域

ネージャーやヘルパーとの打ち合わせなど、自宅で生活が出来るように準備をしました。

**家**族の手助けになればと昨年7月、地区の区長や役員に呼びかけて、災害時要援護者対象リスト作り、小地域見守りネットワーク見守り隊の結成を訴えました。皆さんとても協力的でほとんど輪が広まり、元氣クラブやサロンのサポーター、消防団、各団

体で、対象者と支える側の人がリストアップされました。社協にも見守り隊を申請して緊急安心カードを作成し、声掛け見守りをしています。

### 「生きる力を支える」

動できる程度になりました。「住み慣れた家に帰りたい」と本人の意志が強く、町地域包括支援センターと連携を取りました。自宅の掃除、段差の工事、ベッド搬入、ケアマ

支えになろう、生きる力を支えようと活動していると大変なこともあります。あるときから一筋の光が差し込んでみたくに明るい表情をみせてくださるようになります。そ

**私**一人ではできないことで、区長や地区の皆さんを巻き込んでいます。御船町や高木地区に住んで良かったと思えるように、サロンや元氣クラブで友達の輪をつくりたい。楽しみながら、高齢者になっても、認知症になっても、誰かが見守り支えてくれるような安心のまちづくりをみんなで作っていきましょう。

そして、私たち自身も安心して生活を送れるようにしましょう。

●認知症  
脳細胞の働きが悪くなって起きる病気。症状は、もの忘れ、場所や人がわからなくなる、理解力の低下など。主にアルツハイマー病と、脳血管性認知症がある。



町社会福祉協議会  
木下美千代さん

福祉

## 「目配り気配りの 福祉ネットワーク」

子どもも、若っかもんも、減るばかり。増ゆつとは、年寄りと不安ばっかりー」

これは七滝地区社協会長の言葉です。昼間、若い人は仕事に出て高齢者ばかりという地区もあります。そんなとき、倒れても誰か気づいてくれるだろうか。認知症になったらどうしようか。災害が起きたらどうなるのだろうか。そんな不安を少しでも安心につなげるため、思いを巡らせたものが小地域福祉ネットワークです。

**町** 社協には、地域の支え合いと、その仕組み作りをお手伝いする小地域ふれあいネットワーク推進事業があり

ます。この事業の柱が見守りネットワークと地域サロンです。活動のポイントは①見守りタイ②地区での連絡会③地域サロン④緊急安心カードの4つ。皆さんが普段意識せずにされている目配り気配りの活動です。隣近所との声の掛けあい、ふれあいが見守りネットワークやサロンと

**見** 守り活動は、「電気はついているかな」「カーテンは空いてるかな」などを気に掛けることから始まります。声を掛ける、定期的な訪問する人、そつと見守るだけということもあります。この何気ない目配り気配りのなかで、

いつもと違う、ちょっととした、小さなことに気付くことがあります。その小さな気づきがおおごとを未然に防いだり、早めの手立てを考えるきっかけとなります。

**重** 要なことは、何かに気づいたとき、誰かが、どこかへ連絡することが大事です。このとき、緊急安心カード、見守り活動や連絡会を通して意識していきます。連絡もスムーズにいきます。緊急安心カードは、家の中に置

いてもらい、「救急車を呼ばなん」「家族に連絡せなん」など、緊急時には、本人以外でもカードを見れば必要となるに連絡できます。

**地** 域サロンも小地域福祉ネットワークの一環です。サロン活動は、高齢者の支え合い、ふれあい、集いの場として地域の人たちの手で主体的に活動をされています。私たちも、サロンでの健康づくりに貢献していきたいと思っています。



## 教育現場で認知症への理解図る

七滝中央小学校(村上孝利校長、72人)で2月20日、認知症の学習会が開かれました。これは町地域包括支援センターが主催。認知症への正しい理解などを目的に、町内すべての小中学校で開いているものです。講師は、老人総合福祉施設グリーンヒルみふねの吉本洋施設長が務め、認知症という病気、絵本を使った朗読、接し方などについて話しました。受講後には、認知症サポーターの証となるオレンジリングが児童たちに手渡されていました。

## Interview



七滝中央小6年  
吉本奈那子さん(田代)

認知症は、その人にとってはとても大変なことです。家族に世話もかけるけど、家族だから大切な人だと思いました。私ももの忘れしたことがあるから、そのことを思い出して、認知症の人の気持ちになれたらと思います。学習を振り返って、やさしく声を掛けたり、一緒に行動をとったり、たくさん話しかけられたらいいなと思います。



七滝中央小6年  
木村 隼斗さん(七滝)

認知症は、もの忘れや、人と話せなくなったりする少し寂しい病気だと感じました。道に迷ったりしたことを思い出すと、認知症のことがよく分かると思います。これからは、地域の人にも自分からあいさつをして、進んで会話することを心がけます。勉強したことを家族や、周りの人に伝えて、認知症の人たちを助けてあげたいです。



鷹野 和美さん

●Profile  
たかの・かずみ  
国立信州大学大学院卒。NPO法人Osaka21理事長、国際生涯学習研究財団理事などを務める。老人デイケアの創設者としても知られる。「袋小路の向こうは青空」「地域医療福祉システムの構築」など著書多数

## 「認知症は風邪と同じ おせっかいをやける町に」

何より重要です。

**認** 知症の人を抱えてしまった家族は、袋小路にはまったように出口が見えませんが、日々悩んで、困って、介護を放り出してしまふことにもなっています。

認知症は病気で、単なるもの忘れではありません。やったことの一部分を忘れたら、それは老化です。意欲、自発性、やる気、注意力がなくなると感じたら、「もしかしたら」って思ってください。認知症は一番近い人に対して、症状がきつくなります。だから、世話をしている人は戸惑います。だけど、責めないでください。同じ話は何度でも聞いて、周りの人も助けてください。仲間の助け合いが

**私** は調査をしました。認知症の人に誰が一番気づいたのかを。それは幼なじみです。近所の人も最初に気づきますが、家族に言うことができません。それで手遅れになっていくんです。

御船町が使っている緊急安心カードは、ものすごくいいですね。気がついた人がカードを持って「〇〇さんを見てくれませんか」とできるようなになったら。ずっと一緒に育ってきた地区の人がわからなくなっていくのを黙って見ているだけでなく、町や町社協に伝えられる仕組みをつくっていただきたいです。

**日** 本で一番の福祉のまちは、北海道本別町です。ここでは、認知症になった人は登録します。町民は登録された人を笑いにするわけでもなく、大事にしてくれます。風邪を引くことと認知症は同じです。ただの病気ですからね。だから、みんな守っていきましょう。

認知症の家族がいたら、「私が3時間わかるから、昼寝したら」と言ってくれる人がいてくれたら、どれほどいいでしょう。そういうことが当た

り前にできるようなになるには、おせっかいをやいてください。おせっかいをやくことがおかしなことじゃない、そんな町になってくれるといいですね。

認知症を理解して、お互いさまの関係で守っていきましょう。そうしたら、袋小路の向こうに青空がチラッとでも見えたなら、大きな支えになってくれます。そんな青空をみんなで見せるように工夫をしていく、そんな町になってくれたらと思います。

町では、平成23年度に認知症対策推進事業として、認知症サポーターの養成、家族の集い(写真左)、認知症に強い脳を作るパソコン教室などを行っています。平成24年4月からは、認知症施策総合推進事業で、もの忘れや地域巡回の相談にも力を入れて、安心して暮らせるまちづくりをサポートしていきます。認知症のことでお悩みの方は、まずは電話でご相談ください。

▼問い合わせ  
町地域包括支援センター(役場福祉課内) ☎282-2911

町社協では、地域の支え合いをお手伝いする事業として、見守りネットワークや地域サロンを展開しています。見守りネットワークは、各地域の高齢者を見守りタイが声掛けや訪問を行う活動です。地域サロンは、嘱託区単位で体操や茶話会で交流を図ります。緊急安心カードの設置(写真右)も呼びかけて、地域にあった支え合いの方法を一緒に考えます。詳しい内容は、電話でご連絡ください。

▼問い合わせ  
町社会福祉協議会 ☎282-0785



# 社協

# 包括





## くまモン初市にやってきたモン みふね初市



1\_ くまモン登場で多くの人だかりができた商工会館前 2\_ 本町通りに並べられた瀬戸物は品揃えも豊富 3\_ お目当ての苗木に足を止めて品定めをする買い物客 4\_ 夕方の通りには親子連れを中心に人の波ができた 5\_ 買い物客には商工会から感謝のくじ引き抽選でもてなされた

春の訪れを告げる「みふね初市」が2月27日と28日の両日、本町通り一帯で開催され、メイン会場の町商工会館前は多くの人でにぎわいました。

上益城郡のトップをきって開かれる名物市は、町商工会(福味総一郎会長)が主催。初日は、御船中高のロボコン戦士が応援にかけつけて、全国レベルのロボット操作を実演しました。さらに、熊本県の人気キャラクターで知られる「くまモン」が初市に登場。御船のヒーロー「まもレンジャー」との共演で、ちびっ子たちの視線を独占して、くまモン体操を来場者と一緒に踊りました。

歩行者天国となった通り400mには、瀬戸物、植木や初市館などの露店が軒を連ねて、二日間で1千人以上が足を運び、昔からずっと愛される伝統市の光景が広がっていました。

### 編集後記

▼年初めから寒さの厳しい日々が続き、春を待ち遠しく感じている今日この頃です。昨年(2016)の3・11の東日本大震災から1年の月日が経ち、改めて一年前の出来事を思い出しました。時間は流れているんですね…。いろんなことを考えさせられ、学ぶことの多い一年でした。震災に関連した励ましのお便りもたくさん届きました。皆さん、「何かできないだろうか」という同じ思いなんですね▼桜の花咲く4月、新しい始まりの予感です。気持ちを新たに前を向いて歩いていきたいですね。◎

▼東日本大震災の記憶を風化させないようにと、県内広報担当者が合同制作した「防災特集」。市町村の枠を超え、県民約180万人を対象に防災を考えてみました。自ら生きることが「自助」、日頃の地域交流が「共助」と防衛大学の五百旗頭真校長。この言葉を心のどこかに、防災の意識を持ち続けたいものです。大切な人を守るために▼町は中心市街地の整備や憲法づくりを進めています。いずれも、今よりも、これからを見すえた一歩です。いよいよ4月。皆さんはどんな一歩を踏みだしますか。◎

